

防災訓練



中部緊急防災隊の平成23年度防災訓練が9月1日に行われた。

長野、岐阜、静岡、愛知、三重の5地区と中日本高速道路(株)彦根保全SCを加えて行われた。

道建協中部支部に本部を設置し、岩田本部長以下25名の役員・委員で手分けして午前9時に始められた。

各地区に対し給水用の水タンクの保管場所の確認と点検と清掃をFAXにて指示をする。

また彦根保全SCでは、管内の名神高速で地震による通行止めが発生し、作業員と重機の出動要請が出される想定で訓練が進められた。10時半までに作業終了の報告が入り、11時40分に解散宣言を出して終了した。

台風12号災害支援報告

8月25日に発生した台風12号は大型で動きが遅かったため長時間にわたり台風周辺の非常に湿った空気が流れ込み、紀伊半島での総降水量は広い範囲で1,000mmを超えました。9月3日三重県と和歌山県の境を流れる熊野川が氾濫し甚大なる被害をもたらし、避難者は紀宝町だけでも約千人にのぼりました。特に紀宝町の相野谷(おのだに)川下流域の鮎田地区では全世帯の実に77.1%が、全半壊を含めた浸水被害に遭い、ライフラインはズタズタになり町域のほとんどが断水しました。

9月7日、中部緊急防災隊は、紀宝町からの水害支援要請を受けた中部地方整備局災害対策本部・渡邊防災対策官より給水タンク(東日本大震災にも出動)8基を紀宝町へ届けるよう出動要請を受けました。翌9月8日に本部より指示を受けた我が名古屋西班は、4tユニック車2台で給水

タンク8基を運搬する準備(清掃・積込・タンク架台)に取り掛かり、翌9月9日 06:00に紀宝町へ向け出発しました。11:00に待合せ場所・道の駅(紀宝町ウミガメ公園)で環境衛生課の林課長と合流し、8箇所の避難所に設置するよう指示を受けました。設置場所への道は瓦礫の山や流木が散乱しておりまた道路の一部崩落などもあり、とても一般車両ではいけそうも無いところです。タンク設置には長時間掛かり終了は日も暮れそうな17:00で、名古屋に着いたのは20:00でしたが、設置後に住民の方からお礼の言葉を聞き苦勞も吹き飛んでいました。

10月12日には機材の引き上げと、西田町長よりの野村対策委員長に感謝状が伝授されました。

今回出動に際し協力を戴いた各担当者の方々にはこの場を借りましてお礼申し上げます。

